



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)
2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
(第2660地区ガバナー 吉川秀隆)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

2月 入会記念日 おめでとうございます

2月14日 山田誠一会員 平成3年 2月18日 右田竹郎会員 平成28年

IM第4組ロータリーデー

IM第4組ロータリーデーが2月19日(土) 13:30~16:00の間で開催されました。コロナ禍の為、YouTube配信で行われ、現況を鑑みながら開催され大変苦労なされた事だと思ひます。改めて感謝致します。

まずは、ガバナーやホストクラブ会長の挨拶から始まり、第一部では東大阪東ロータリークラブが得意としている国際交流がコロナ禍の為、なかなか思うように進められない中で諦めずに取り組んだ東大阪市立日新高等学校の学生とタイ・カンボジアの学生の行動などがビデオを通して放映されました。第二部では国際交流を通しての体験を熱く語ってくれ、国際交流の素晴らしさを教えてくださいました。

最後には、次年度のロータリーデーのホストとなる我が大阪難波ロータリークラブの西原会長が当クラブをアピールして下さい、次年度における熱い意気込みを語って下さいました。又、伴井ガバナー補佐エレクトによる閉会の挨拶も素晴らしいもので二時間半があつという間に過ぎました。

次年度は、より一層の企画を考慮して取り組んで行きたいと思ひました。 文責：中川静夫



西原会長より次年度ロータリーデーホストクラブのご挨拶

伴井ガバナー補佐エレクトより閉会のご挨拶

これからの予定

- 3月3日(木) 例会中止・臨時総会延期・定例理事会ZOOM
- 3月10日(木) 例会未定
- 3月17日(木) 例会未定
- 3月24日(木) 例会未定
- 3月26日(土) 会長エレクト研修セミナー (PETS)
- 3月31日(木) 例会未定

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
2月24日(木) 休会の為、ありません	3月3日(木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

♪ 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

2月24日(木)は例会の予定でしたが
大阪府にまん延防止等重点措置が
発令されたため
本日は休会といたします。

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥0(休会)
本日までの累計	¥1,500,000(64%達成)
2月末の予算額	¥2,660,000

出席報告		
前回	2月17日(休会)	3週前 1月27日(休会)
会員総数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率
出席会員数	名	
出席率	%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：西原芳博 幹事：中川静夫 会報・雑誌委員長：赤坂 宏 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

2月は「平和構築と紛争予防月間」です

★来客紹介：ありません

★会長報告：西原会長

1. コロナウイルス感染者数がやや下向き気味になってきておりますが、依然予断を許さない状況が続いております。そんな最中、冬季オリンピックが閉幕を迎え、何となく世間が静寂を取り戻した矢先にロシアによるウクライナ侵略が現実化され、何かと落ち着かない日々が続いております。

又、我がクラブは皆様、御承知の通り、コロナ禍における例会休会が続いておりますが、先週2月19日（土）IM第4組ロータリーデーが東大阪東ロータリークラブ様がホストを務め、執り行われました。テーマは、「世界に触れよう！！～私たちが出来る子どもたちのエンパワメント～」という事で、東大阪東ロータリークラブ様が関わってきたロータリー青少年交換プログラムについてのパネルディスカッションや、コロナ禍での国際交流のビデオ放映が行われました。来年、我がクラブがこのIM第4組ロータリーデーのホストを務めるという事も重なり、数多くの会員の方々にこのYouTube配信を視聴して頂きました。私どもが来年一から作り上げるにあたり、大変貴重なYouTube配信を見ることが出来ました。会の最後には、来期ホストクラブとして、私が挨拶をさせて頂き、そして伴井ガバナ補佐エレクトの総評もあり、来年に向け視聴された会員の皆様と心をひとつに出来、非常に良い機会になったと思います。林会長エレクトも3月～4月に実行委員会を立ち上げ、スタートを切るとおっしゃっています。是非、会員全員でこの一大イベントに取り組み、大阪難波ロータリークラブの存在を示すことができればと期待を膨らませた所であります。

林会長エレクトのみこしを皆でかつぎ、盛り上げて参りましょう。

★幹事報告：中川静夫幹事

1. 3月3日（木）ZOOMにて定例理事会を開催させて頂きますので、理事役員の方はご出席宜しくお願い致します。
2. 中川博之会員・福田忠会員ご推薦の秋田祐作氏、千田忠司会員・西原芳博会員ご推薦の岡野邦男氏、藤原秀之氏の入会が決定いたしました。例会再開後、インフォメーションと入会式を行う予定です。

★委員会報告

◇国際奉仕委員会：松田委員長

「直接対面式での国際大会開催のお知らせ」
2022年6月4日～8日に、ロータリー国際大会が直接対面式で米国テキサス州ヒューストンにて開催されますので、ご報告申し上げます。

★ニコニコ箱報告：ありません

★卓話：ありません

2021-22年度IM第4組ロータリーデー
お時間が合わず、ご視聴いただけなかった方は、
こちらから閲覧する事ができます。↓

●開催日時：2022年2月19日（土）13:30～15:30

●閲覧はこちら <https://youtu.be/c4zay01PbQ0>



Shekar M. Mehta
2021-22年度国際ロータリー（RI）会長

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

本ロータリー年度の最初に、少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画・開催していただくよう、すべてのクラブにお願いしました。このイベントは、ロータリーの重点分野の一つ以上に該当する地域社会の課題に、ロータリー内外のボランティアと一緒に取り組めるものとする必要があります。

ロータリー奉仕デーは、ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの意欲を引きだし、革新的かつ影響力のある奉仕プロジェクトを計画する良い機会です。行動人としての活動を披露し、会員候補をクラブに引きよせる機会にもなります。

すばらしいイベントが次々に実施されてきましたが、想像力をかきたてられた一例をここでご紹介しましょう。

インドでは推定7400万人もの人びとが糖尿病にかかっており、主要な死因となっています。さらに、その約半数が糖尿病という診断を受けていない状況なのです。

ロータリーとResearch Society for the Study of Diabetes in India（インド糖尿病研究協会）は、糖尿病を診断し、患者を把握し、治療を早急に行う必要があると考えました。二団体は他団体とも協力し、世界心臓デーである9月29日に全国的な血糖値の無料検査を実施しました。

2,000以上のロータリークラブとローターアクトクラブが参加して、全国10,000カ所を超える検査所を設置しました。一日で100万件を超える血糖値検査を実施。これは記録認定団体の Asia Book of Recordsにも記録として認められた数です。しかし、記録樹

立よりも大事なものは、何万人もの人びとが糖尿病にかかっているかもしれないことを自覚したという事実です。これで治療が受けられます。それに、糖尿病を原因とする、または糖尿病により悪化する新型肺炎などの数々の疾患に対して予防策をとる必要性も学びました。

今月の23日はロータリーの創立記念日です。奉仕デーイベントを実施し、重点分野におけるロータリーの活動を発表しましょう。皆さんのロータリー奉仕デーイベントについてぜひお聞かせください。ロータリーショーケースではイベントについて発表したり、プロジェクトのアイデアやプロジェクトパートナーを見つけたりすることができます。中でも、このパンデミックで特に甚大な影響を受けている少女たちに力を与えるためのプロジェクトをぜひ実施していただきたいと思っています。女兒のエンパワメントの取り組みは、ロータリアンでも、ロータリアンではない人でも、心を動かされるものです。有意義なイニチアチブとして各国政府とNGOから高い評価を受けています。今後も注力していきましょう。

また、「Each One, Bring One（みんなが一人を入会させよう）」で目覚ましい成果が得られていることをうれしく思います。あらゆるクラブ会員が少なくとも一人はロータリーに新会員を紹介し、彼らがずっとロータリーの一員でいてくれるように全員で働きかけましょう。

何をするにつけても、みんなの人生を豊かにするための奉仕を行うにはこれまで以上に成長し、これまで以上の成果を挙げていく必要があることを忘れてはなりません。